

令和6年第2回取手地方広域下水道組合議会定例会議員全員協議会

令和6年8月21日（水）午後1時15分
大会議室

1. 執行部説明事項

- (1) 伊奈山王幹線二条化工事の事業説明について

2. 協議事項

- (1) 会議録署名議員の指名について
- (2) 会期について
- (3) 令和6年度議員派遣の件について

3. 報告事項

- (1) 令和6年度工事契約状況調書について
- (2) 次回議会開催の予定について（令和7年第1回議会定例会）
令和7年2月20日（木） 午後3時00分～

4. その他

- (1) 本会議における執行部職員の答弁について

1 出席議員

1 番	前 嶋 竜乃介	議 員
2 番	松 本 讓 二	議 員
3 番	古 川 よし枝	議 員
4 番	佐 野 太 一	議 員
5 番	海 東 一 弘	議 員
6 番	小 堤 修	議 員
7 番	落 合 信太郎	議 員
8 番	金 澤 克 仁	議 員
9 番	山野井 隆	議 員
10 番	入 江 洋 一	議 員

1 欠席議員

な し

1 説明のため出席した者の氏名

事 務 局 長	穉 鹿 毅
次 長	中 山 茂
次 長 兼 経 営 課 長	齊 藤 隆
保 全 課 長	長 塚 学
保全課副参事兼課長補佐	齊 藤 宏 幸
保全課長補佐兼管路更生係長	椎 名 正 徳

1 職務のため出席した者の氏名

議 会 事 務 局 長	斎 藤 佐武郎
議 会 事 務 局 局 長 補 佐	谷 口 良 倫
議 会 事 務 局 係 長	小 林 勇
議 会 事 務 局 主 事	高 橋 夏 子

令和6年第2回

取手地方広域下水道組合議会定例会全員協議会会議録

令和6年8月21日（水曜日）

於 大会議室

○

午後1時20分開会

○座長（小堤 修君） それでは、皆さん、こんにちは。大変お疲れさまでございます。

開会に先立ちまして、事務局より本日の配付資料の確認をお願いします。

○議会事務局係長（小林 勇君） それでは、本日の配付資料、確認させていただきます。

まず、1枚目に本日の全員協議会の次第がございまして、その次に資料1としまして、資料1、保全課と書かれていますA3の資料ですね。

続きまして、資料2、資料2、総務課と書かれています視察企画書（案）というものです。A4の資料になります。

続きまして、A4横書きの報告1、総務課と書かれております、令和6年度工事契約状況調書になります。

最後に、A4の資料で一般質問について、通知という資料になりますが、不足などございますでしょうか。よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○議会事務局係長（小林 勇君） ありがとうございます。

○議長（小堤 修君） それでは、ただいまより全員協議会を始めます。

初めに、執行部説明事項の前に、議案質疑について確認をいたします。

本日の議案に対し質疑の事前通告はありませんでしたが、改めて質疑を予定されている議員がいましたら、挙手をお願いします。ここに待機している執行部に準備をさせたいと思いますが、質疑の方はいらっしゃいませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小堤 修君） それでは、議案質疑の御予定はないとのことで確認します。

ここで、この後、説明を行う職員以外の退席を認めます。

〔執行部一部退場〕

○議長（小堤 修君） それでは、次へ進めます。

○

執行部説明事項

○議長（小堤 修君） 次第の2、執行部説明事項について、保全課から説明をお願いいたします。

○保全課長（長塚 学君） 保全課でございます。

保全課からは、令和6年第1回定例会の中で中村管理者のほうからの冒頭挨拶で、伊奈山王幹線二条化工事、バックアップ管路工事について、普段、あまり目にすることができない大きな事業でありますので、議員の皆様方に御覧いただく機会を設けたいとのお話がありました。

しかし立坑の昇り降りに、はしごの箇所があるなど大変危険ですので、この場をお借りしまして、映像で直径2,000ミリメートルの管きょの中を御覧いただければと思います。

詳細は、課長補佐の椎名から説明をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

あと、御質問のほうは、説明が終わった後にお受けいたしますので、よろしく願いいたします。

○保全課長補佐兼管路更生係長（椎名正徳君） 保全課の椎名と申します。よろしく願いいたします。パソコンを操作する関係で、座ったまま失礼させていただきます。

早速ですけれども、正面のスクリーンに映されているものが、お手元にお配りした位置図となっております。

映像を見る前に、伊奈山王幹線二条化事業の概要を簡単に説明いたしたいと思います。

お手元の位置図の中で左上に書かれております山王新田汚水中継ポンプ場と左上に書かれていると思うのですが、そこから小貝川に向かって黒の点線で書かれておりますのが、つくばみらい市の汚水を処理するために平成元年に施工した既設の伊奈山王幹線になっています。この既設の伊奈山王幹線が万が一被災し、つくばみらい市の汚水が流れなくなり、市民生活に支障を来してしまう事態に事前に備えるために、お手元位置図の黒の点線の左側に赤いラインで記してあるところに、総合地震対策事業の一環として、直径2,000ミリメートルのコンクリート管を推進工法により537.4メートル設置しております。その中に、実際に汚水が流れる管として、直径300ミリメートルの铸铁管を設置しております。

この铸铁管は、上水道管と同じで、勾配をつけなくとも圧力により流れる管になっています。それがお手元位置図の右側四角で囲ってある上から2番目になるのですが、①管きょ図に書かれているもので、これが完成後の断面図になります。

それでは、実際に直径2,000ミリメートルのコンクリート管の中の映像を時間の都合上、2倍速で正面のスクリーンに映しますので、御覧いただければと思います。

まず初めに、お手元位置図の中央下にA発進立杭と書かれているところのはしごを私どもの職員が降りている映像になります。安全管理の徹底を図るため、転落防止用のフルハーネスを着用して降りております。ちなみに、この発進立杭の寸法でございますが、お手元の位置図の表記にあるとおり、長手方向に8.6メートル、幅5.6メートル、深さ17.9メートルでございます。ここからコンクリート管の中を山王新田汚水中継ポンプ場に向かって歩いている映像となります。

お手元位置図の赤いライン上にB右岸堤防、C河床最深部、D左岸堤防、これ、位置図に記されていると思うのですけれども、これらの地点は、この2,000ミリのコンクリート管の内部に実際に表示されておりますので、これらの地点のところで映像を止めて御覧いただければと思います。

最初に出てくるのがBの右岸堤防になります。こちらが位置図で示されてあるBの右岸堤防になります。こちらは発進立坑より、大体120メートル行ったぐらいの地点になっております。

映像を続けさせていただきます。

次に、お手元位置図のC河床最深部というところが出てきます。こちらが、お手元位置図のCの河床最深部になります。発進立坑より180メートルぐらい行った地点になります。ここが小貝川の一番深いところになります。

映像は進めさせていただきます。

その河床最深部から約11メートル下がったところに、直径2,000ミリメートルのコンクリート管を通してあります。

最初にも言いましたけれども、この映像は2倍速で流れておりますけれども、実際に取手市配松側にあるA発進立坑から、つくばみらい市山王新田側のFの到達縦坑までは、徒歩で約8分程度となります。

また、今日のような外気温が30度以上でも、2,000ミリメートルの管内の温度は22度前後の気温となっていて、この2,000ミリメートルのコンクリート管は、将来にわたり人が目視により適切な維持管理が実施できるようになっております。

今現在の映像はDの左岸堤防のほうに向かって歩いている映像になります。このDの左岸堤防でございますけれども、取手市側のB右岸堤防と同じですので、映像は止めずに進めさせていただきます。

次、止めさせていただくのは、Eのカーブ開始地点というところで映像は止めたいと思います。この辺がちょうどカーブの開始する境目になるEのカーブ開始地点になるのですけれども、発進立坑より427メートル行ったあたりになります。

映像は進めさせていただきます。

このコンクリート管なのですけれども、直線部は2.43メートルのコンクリート管を使用して、カーブが始まる場所から1.2メートルのコンクリート管を使用しております。映像でも、ちょっと緩やかにカーブしているのが見て取れると思います。

最終的に、お手元位置図のF到達縦坑が最終地点となります。この到達縦坑の寸法ですけれども、お手元の位置図にあるとおり、長手方向に8.6メートル、幅5.6メートル、深さ19.6メートルでございます。最終的にA発進立坑とF到達縦坑とも、特殊マンホールを築造して伊奈山王幹線二条化工事の完成となります。

大体映像は、これで以上になります。ありがとうございました。

○議長（小堤 修君） ありがとうございます。

ただいま保全課より説明がありました。確認されたい点がありましたら、挙手をお願いいたします。

金澤議員、どうぞ。

○議員（金澤克仁君） 詳細な説明、ありがとうございます。何点かお尋ねしたいのですが。

まず一つが、A地点とF地点だと、深さが2メートル、1.8メートル、少し違うのですけれども、先ほどの説明だと、特に勾配は設けないというふうなことだったと思うのですけれども、勾配は変わらないけれども、深さは少し違うのですよという認識でよろしいですか。

○次長兼経営課長（齋藤 隆君） 立坑の深さが違うという質問。

○保全課長補佐兼管路更生係長（椎名正徳君） Aの発進立坑というところと、あと最後の最後、到達したところ、深さが違うのですけれども、やっぱり地盤の高さが違いますので、そこは深さが違うようになっていて、ほとんどフラットに管は入っております。

○議員（金澤克仁君） 分かりました。ありがとうございます。

続いてなののですけれども、管きょ図①というところなののですけれども、図を見ると2メートルのコンクリートの中に300ミリの圧送管がされるということで、既存のやつは500Φで、今回のやつは300ということで、大分、小さくなると思うのですけれども、それについては。

○保全課長補佐兼管路更生係長（椎名正徳君） こちらは当初、平成元年度にこのΦ500を施工したときと今の下水道の利用人口が変わっておりまして、想定よりも今、少なくなっておりまして、それで300で十分汚水を流せる管径になっておりますので、管径が小さくなっています。

○議員（金澤克仁君） ありがとうございます。

もう一つなののですけれども、基本的な考え方として、この2,000ミリのラインをつくった目的というのは、この300Φのやつをずっと点検確認できるようにつくったという認識です。要は、この中は直接流すというのではなくてということによろしいでしょうか。

○保全課長補佐兼管路更生係長（椎名正徳君） そのとおりです。河川法で1年に1回は点検しなさいという法律がございまして、今は立坑といって上が開いていますのであれなのですけれども、人孔が立ち上がって実際に密閉されますと、下の酸素がかなり薄まっていて、人がとても入れるような状態じゃなくなりますので、送風機を常備したりとかというのを、それを私たち職員でやるのか、民間委託するのかというの、今、検討中でございます。

○議員（金澤克仁君） ありがとうございます。

最後になのですけれども、川の最深部というところあったと思うのですけれども、これで何メートル。

○保全課長補佐兼管路更生係長(椎名正徳君) 川は大体1メートル80センチぐらいです。

○議員(金澤克仁君) 川の深さは1メートル80。

○保全課長補佐兼管路更生係長(椎名正徳君) 2メートル弱ぐらいです。

○議員(金澤克仁君) 分かりました。ありがとうございました。

○議長(小堤 修君) そのほかありますか。

入江議員。

○議員(入江洋一君) この污水圧送管というのは、これから。

○保全課長補佐兼管路更生係長(椎名正徳君) まだ流されてはいないです。これから供用されます。

○議員(入江洋一君) 位置図的には右側。

○保全課長補佐兼管路更生係長(椎名正徳君) そうです、今はまだ右を通っております。

○議員(入江洋一君) それと、下水道の利用が少ないという話でした。管径が500から300。本来ならば増えなきゃいけないと思うのですけれども、何で少なくなるのか。

○保全課長(長塚 学君) 要するに、今、全国的に人口減っていますよね。それに伴って污水の計画処理人口も減っているわけです。どうしても、その計画が、人口の減少に伴い、どうしても計画も減らしますので、それで減っているという。

○議長(小堤 修君) 入江議員、いいですか。

○議員(入江洋一君) はい、いいですよ。

○議長(小堤 修君) そのほか、いかがですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(小堤 修君) それでは、本日の執行部からの説明は以上となります。

ここで説明職員の退席を認めます。議員におかれましては、少々お待ちください。

〔執行部一部退場〕

○議長(小堤 修君) それでは、先へ進めます。

○

協議事項

○議長(小堤 修君) 引き続き、次第の3、協議事項(1)から(3)について、議会事務局から説明をお願いします。

○議会事務局長(斎藤佐武郎君) 議会事務局の斎藤です。

私から、協議事項3点について御説明申し上げます。

(1) 会議録署名議員の指名について。本定例会は、議席順により3番古川議員、4番佐野議員の御指名を予定しております。

次に、(2) 会期について。本定例会は、本日1日限りとしております。

次に、(3) 令和6年度議員派遣の件について。お配りしている資料の2、令和6年度取

手地方広域下水道組合議会議員視察企画書（案）を御覧ください。

本日、議案として御審議いただきます今年10月に予定する視察の内容を御説明申し上げます。

資料の中段を御覧いただきまして、（3）番の場所ですね。1か所目は北海道旭川市でございます。旭川市では、現在、汚水の処理過程で発生する汚泥を場内で焼却し、その焼却した灰をセメント原料として再利用されておりますが、新たに施設内で汚泥を肥料化する事業を検討されており、その取組内容を視察するものでございます。

2か所目は富良野市でございます。富良野市では、オンサイトP P Aモデルを活用した脱炭素の取組をされております。オンサイトP P Aとは、下水道事業者が処理場の未利用地を発電事業者に提供し、その事業者の負担で、発電設備の設置、運転・管理を行った上、そこで発電された電力を下水処理場へ有償で供給する事業でございます。その内容を視察するものでございます。

3か所目は恵庭市でございます。富良野市同様、オンサイトP P A事業の取組を視察するものでございますが、恵庭市は事業に着手したばかりで、設備の設置などはこれからになります。事業計画策定から着手までの取組の内容を視察するほか、資源の循環・有効利用の取組についても、併せて視察するものでございます。

研修期間は、10月22日から24日までの3日間を予定しております。

協議事項3点の説明は以上でございます。

○議長（小堤 修君） ありがとうございます。

ただいま説明がありました。確認されたい点がありましたら挙手をお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小堤 修君） それでは、確認事項はないと認めます。

そのほか、ありますか。何かあればと思えますけれども。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小堤 修君） では、先に進めます。

○

報告事項

○議長（小堤 修君） 次に、次第の4、報告事項（1）（2）について、議会事務局から説明をお願いします。

○議会事務局長（斎藤佐武郎君） 引き続き、斎藤です。

2点、御報告申し上げます。

1点目は、令和6年度工事契約状況調書でございます。お配りしております報告1の資料となります。今年4月から7月31日までの工事契約について、参考資料として御査収願います。

次に、2点目、次回議会開催の予定でございます。令和7年第1回議会定例会を2月20日木曜日、午後3時からの開会としておりますので御予定願います。こちらは構成市議会事務局とも調整済みでございます。

私から報告は以上でございます。

○議長（小堤 修君） ありがとうございます。

ただいま説明がありました。質疑がありましたら挙手をお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小堤 修君） ないようですので、これ以外に、そのほか何かありますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小堤 修君） それでは、ないようですので次に進めます。

○

その他

○議長（小堤 修君） 次第の5、その他について、議会事務局からの説明をお願いいたします。

○議会事務局長（斎藤佐武郎君） 引き続き、斎藤から説明申し上げます。

こちら資料はございませんが、本会議における執行部職員の答弁について、少し方法を改めさせていただきます。

内容は、これまで一つの議題に対して、議員から質疑、または質問があった場合、執行部職員は、答弁者が交代するたびに、1回目は登壇して答弁を行い、2回目以降は自席で答弁を行うこととしておりましたが、答弁者が交代した場合でも、2回目以降の質疑、質問の答弁は、自席で答弁をさせていただくものでございます。1回目の答弁は、最初の答弁者が従来どおり登壇して答弁をさせていただきます。

議員皆様におかれましては、変更点はございません。従来どおり、1回目の質疑、質問は登壇して行っていただき、2回目以降は質問席で質疑、または質問をお願いいたします。

その他については以上でございます。

○議長（小堤 修君） ありがとうございます。

ただいま説明がありました。確認されたい点がございましたら挙手をお願いします。

金澤議員。

○議員（金澤克仁君） 答弁の中で、管理者が仮に登壇して答弁しました、管理者の答弁に対する補足答弁という場合は、どういう。

○議会事務局長（斎藤佐武郎君） 2回目以降になりますので、自席で答弁をさせていただきたいと考えております。

○議員（金澤克仁君） 分かりました。

○議長（小堤 修君） そのほか、ありますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小堤 修君） ないようですので、それでは、以上で終わりになりますけれども、よろしいですか。確認したい事項ありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小堤 修君） それでは、以上で議員全員協議会を閉会いたします。

午後 1 時 4 2 分閉会